

平成29年度第4回富里市産業振興推進会議議事録

- 1 日 時 平成29年12月22日（金）
午後2時00分から午後3時10分
- 2 場 所 富里市役所3階第3会議室
- 3 出席者 寒郡茂樹委員，本田円佳委員，尾崎悦子委員，根本実委員，
藤崎綾子委員，原幸司委員，田中英之委員，櫻井優好委員，
中山健アドバイザー

(事務局) 市民経済環境部長，商工観光課長，商工観光課事務局
高須農政課長，商工観光課岡村主査

〔会議次第〕

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 富里市産業振興ビジョン（案）について
 - (2) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

〔会議概要〕

1 開 会

(事務局より開会のあいさつ)

議事録作成のため会議を録音することを説明。市民経済環境部農政課高須課長及び商工観光課観光振興班岡村主査の出席を報告。

2 会長あいさつ

(会長あいさつ)

事務局 本日の会議の定数の報告をした。過半数以上の委員の出席があるので、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第2項の規定により当会議は成立している。本日の欠席している委員の報告をした。会議は、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第1項の規定により会長が議長を務める。

議 長 本日は傍聴人はおられますか。

(傍聴人なし)

議 長 会議を再開します。

議題(1)富里市産業振興ビジョン(案)について

事務局 (資料により説明)

商工観光課 (観光振興アクションプランについての説明)

富里市観光振興アクションプランについて、説明させていただきます。ただいま、産業振興ビジョンの説明の中でもありましたが、こちらのアクションプランにつきましては、総合計画で盛り込んであります、「地域力でもてなす観光」の実現に向けて目指すべき方向性を明確にして、着実に実行していくために方策を位置づけることを目的として策定するものです。

そして、富里市産業振興ビジョンの観光分野を抜き出した個別計画となります。観光振興アクションプランの目次をご覧ください。

こちらのアクションプランにつきましては、第1章から第5章で構成し、計画期間、現状と課題の洗い出し、そして今後進むべき方向性を見出して、実際どういった戦略で取り組んで行くのかが書かれております。

そして、実行性を持たせるため、各種取組に対して最後にP D C Aサイクルによる検証を行うことも盛り込んでおります。

続いて、要旨について説明させていただきます。

2ページをご覧ください。こちらの計画期間につきましては、産業振興ビジョンに合わせて、平成30年度から32年度までの3カ年としております。また期間内であっても、状況に応じて見直しをすることを明記しました。

その下に、観光振興アクションプランの位置づけ図を載せました。上位計画として富里市総合計画がありまして、その下に、産業振興ビジョンがあり、そこから観光分野を抜き出した形で、富里市観光振興アクションプランがあります。アクションプランにつきましては、国や県で観光振興のための様々な計画がございますので、こちらの計画と整合性があるように作りまして、また、富里市のまち・ひと・しごと創生総合戦略とまちづくりに関わる様々な関連計画がございますので、「都市マスタープラン」や富里市の緑と保全の活用を決めている「緑の基本計画」、そして、みんなでまちづくりに取り組もうという「協働のまちづくり推進計画」などの個別計画との整合、調整を図り、取り組んで行くものとしております。

続きまして、3ページから富里の現状と課題を掲載しています。以前観光協会とも意見交換をしまして、洗い出した内容となっております。富里市は農業が盛んで、全国有数のスイカや人参などの特産品があります。あとは、馬のふる里ということで、馬についても観光資源として捉えております。またこの地域独特の風景、里山の風景や落花生ボッチなども富里市の地域資源として捉えております。

次の4ページには、毎年県に報告をしております、観光客入込数調査結果データを載せております。4ページ上段は、富里市に観光で訪れる方の数字になっておりまして、1つのグラフが2色に分かれておりますが、ゴルフ場などの観光レクリエーション施設とお祭りなどのイベント系のお客様の数がそれぞれ数字として入っております。富里市にはイベントで訪れる方の方が多くいらっしゃいます。その下には、宿泊客の状況をグラフで入れております。こちらの数字については、ビジネス利用者などの宿泊者も含まれておりますので、純粹に観光としての比較はできませんが、参考までに載せてお

ります。全体のお客様のグラフが左側、右側には外国人のお客様の数を示しています。富里市は外国人の宿泊客がかなり多い状況となっております。次の5, 6ページには、こういった国から来られているのかというのを示してございます。

次に7ページから9ページまでは課題ということで掲載しております。1つ目の課題としては、PRはしておりますが、お客様に認識されて訪れていただくまでにはなっていない、2つ目として、観光資源を充実させて通年通して訪れていただけるようなものになっていない、3つ目として、広域観光をすることで富里市単体で足りないものを広域観光で補おうというところにも課題があるということ。最後、4つ目として、お客様が来ていただいた時に、受入体制が整っていないのではないかという課題を書いております。

それらを踏まえて、10ページから今後進むべき方向性を示しています。上段に①から④までで、まず観光拠点と言われる所がないので、そういった所を設置して観光客の滞留場所を作って、受け入れの増加を図っていく、そして地域の特色を生かした観光資源を磨き上げて、イメージアップを図りブランディングをしていくことで、地域の経済効果にも観光が繋がるのではないかとということ、あと、広域連携によって富里市もその中で生かされていくのではないかとという相乗効果を狙うことを入れております。

最後に観光振興を進めていくうえで、実際富里市が注目される、訪れた人に良い所だと言ってもらえるようなことで、富里市にお住まいの方々が富里市の魅力を再発見し、再認識することで市民の郷土愛が芽生えて、富里市について、いろいろな活動が行われたり、住み続けたいと思っただけるところまで、観光で目指していきたいと思っております。

続いて、12ページをご覧ください。こちらの観光振興アクションプランを通じまして、目標を設定しておりますが、本市の観光客数は平成28年が11万9,182人いらっしゃいましたが、今後この計画を実施していく中で、観光拠点の設置や受入体制を整えば、平成32年度の計画最終年度には年間観光入込客数を平成28年度から10パーセント増の13万2,000人としたいということで目標数値を設定しています。では、この数値目標をクリアするために、こういった

事業をしていくのかということが 13 ページから各事業毎に個表でまとめてございます。

次に 13, 14 ページをご覧ください。

富里市の観光振興アクションプランは、4 本柱でいこうと考えております。まず、基本戦略 1 としまして、観光プロモーション活動の強化。現在も観光プロモーション活動を行っておりますが、それを強化していくということが 1 つの柱となります。

次に基本戦略 2 ということで、新たな観光資源の創出です。今、観光資源は様々ありますが、それを組み合わせたり、新たなものを発掘したりして、新たに富里市に来ていただけるようなもの、注目されるようなもの、そういった資源をつくっていくことが必要だということを掲載しております。

次のページの基本戦略 3 ということで、富里市単体で取り組むよりも効果的に出来たり、富里市が生かせる形になることも考えられるため、広域連携を推進していこうというところで、現在も県や北総地域の協議会に参加していますが、引き続き、連携体制を図っていこうということと、あとは、さらに広域で、旧岩崎家末廣別邸、岩崎久弥氏に関わる各地の地域との連携によって、富里市を生かしていこうということ載せております。

最後、基本戦略 4 ということで、受入体制の整備を挙げています。基本戦略 1 ～ 3 で宣伝活動を活発に行い興味を持っていただくことと併せて、受入体制をしっかりとしないと今後に繋がらないため、受入体制を整備することもアクションプランに盛り込んでおります。

基本戦略 1 については、事業を 2 分類にしており、1 つ目として観光プロモーション活動の充実ということで、現在の物産展などを通じた魅力発信の充実やフィルムコミッションに関わるようなものが観光プロモーション活動の強化のところにあります。

既存の事業をこの計画によって、きちんと明確に位置付けていこうというのが一つの目的でもありましたので、既存の事業も入っております。そして、新たに取り組まなければいけないものとしましては、基本戦略 1 の (2) の情報発信の充実及び工夫の中に②ということで SNS を活用した情報発信の充実及び工夫を盛り込んでおります。現在、紙ベースでパンフレット類の発行をしておりますが、

今後は、SNS、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなどの双方向性を持ったようなものを活用しながら情報発信をしていくという視点を持つということはこの計画で盛り込んでおります。

新たな観光資源の創出については、イベントについては今までもやっておりますが、それに加えて(2)の富里ブランドの創造ということで、富里市をイメージアップできる、イメージしてもらえりような商品の開発と販売を挙げています。それらをするることによって、ふるさと産品の推奨品を充実させていくというようなことも盛り込んでおります。

基本戦略4につきまして、受入体制としてハード面、ソフト面とございますが、ハード面については(1)訪れやすい、歩きやすい環境整備ということで、まずは観光客の方が来ていただいて滞留して、一旦拠点となるようなところの設置を掲げておりますし、観光でまわっていただく際に、案内看板がないことや観光トイレがないことなどに対する検討をしていこうというのが、(1)でございます。

(2)につきましてはソフト面で、観光人材の充実ということで、観光案内ボランティアや富里の情報を良く知った方にボランティアになっていただくように、セミナーなどを通じて人材育成を図っていければというところで掲げているものです。

個表については、ボリュームがありますので、お時間があるときにご覧いただければと思います。

最後に、34ページをご覧ください。アクションプランの推進体制づくりということで、36ページにあります、PDCAサイクルによって、着実に進めていこうということで、評価、検証や見直しについて、34ページから36ページにまとめております。

まず、34ページについては、PDCAサイクルに基づく検証、分析と事業評価については、産業振興推進会議において毎年度お願いすることにしまして、そこで評価された内容、提言があったものを、実行する側の実施主体の方々と共有しまして、評価に対して今後どのように取り組んで行くのかというような具体的な情報交換の場を作ればと考えており、(仮称)観光アクションプラン推進協議会というものを作る想定でございます。メンバーについては、観光に関

わる皆様が構成メンバーとなるようなイメージになっております。

次の 35 ページには、観光アクションプラン推進協議会の構成メンバーのイメージと実働する方々の連携イメージを載せております。

最後 36 ページに、参考として P D C A サイクルの図を載せております。

その他は、参考資料となります。39 ページには、年次計画として、何年に何をどう取り組むかという一覧表を載せております。

最後には、用語集も載せております。観光振興アクションプランの構成は、以上のような形となっております。

こちらの内容については、お目通ししていただきまして、次回の会議の際に、ご意見等いただけるとありがたいので、よろしく願いします。

事務局

産業振興ビジョンの補足説明をさせていただきます。

第 3 回会議で委員の皆様からご指摘のありました点ですが、今回のビジョンの中で具体的な数値目標や具体策を、また行動計画を盛り込むことについてご指摘がございましたが、現在検討していただいておりますビジョンにつきましては、行動計画は別にしまして調整させていただければと思います。

これからもご指摘をいただきながら、ビジョン策定を進めさせていただきますが、具体的な目標設定である数値や行動計画につきましては、別に調整させていただきますので、ご提案をさせていただければと考えております。

議長

ありがとうございました。

最後の補足については、観光振興アクションプランのように、別途アクションプランを作って、その中に細かい数値を入れていくという理解でよろしいでしょうか。

事務局

はい。

議長

観光振興についてのご指摘は、本日も行ってもよろしいのでしょうか。

商工観光課

この場でご意見頂戴できると助かります。

議長

わかりました。先程、事務局より説明のありました、2 つについて、ご意見、ご質問等ありましたら、お願いできればと思います。

議長

富里市産業振興ビジョンについて、この中で気になった点がいくつかございます。

まず、23 ページの 4 番として、「地域資源の活用と新しい産業の創造」という括りをされております。中小企業庁はこれから 5 年間かけて事業承継に力を入れていくと公表している。つまり、事業承継が出来ていないことによって、経済が活性化していない部分が多々あると認識していることから、予算も政策も実施していくということを聞いております。

そうすると、「地域資源の活用と新しい産業の創造」というよりも創業支援については、事業承継と関連する部分が多々あると思います。つまり、現在ある企業の中で、新たな事業をすることや世代交代をしてこういう事業を行っていかうという時については、事業承継と創業がセットになる可能性が高い。その部分については、国の施策として取り組むということをも明言されておりますので、私は地域資源の活用と、新しい産業の創造を分けていただいて、特に新しい産業の創造或いは既存事業の持続的発展のような、別の括りを設けていただき、それに対する創業支援或いは事業承継というようなことを入れていただいた方が良いと思います。

それと、是非加えていただきたいことがあります。

それは、官公需についてです。官公需については、地元産業を育成していくということをも是非盛り込んでいただきたい。最終的にはアクションプランになるのかもしれませんが、公共調達の数値的な目標まで、できれば入れていただきたいと思います。継続的にある事業については、ある程度数値目標を出して、地元産業を育成するというようなことを産業振興ビジョンの中には明確にしていきたいと思っております。以上 2 点よろしく申し上げます。

事務局

ただ今の議長からのご提言でございますが、産業振興ビジョンに

おる位置付けとして、4番の「地域資源の活用と新しい産業の創造」の項を分割して、(1)から(3)を地域資源の活用とし、5番の観光を6番にずらします。そして、新たに5番として創業支援と事業承継ということで、ひとつ新しい産業の創造の部分で項を設けさせていただくことで検討してみます。

それから官公需の関係ですが、22ページの基本方針に基づく具体的方策の(2)商工業振興の部分で、項目を調整していければと思います。

C委員 特にございませませんが、できれば、資料のボリュームが多いので、先にメール等で頂戴できればと思います。

事務局 資料が完成次第、当日の資料と若干異なる可能性があります、できる限りリアルタイムでお送りできるようにいたします。

G委員 内容に関しては、特に言及することはありません。

それで、感覚的に表紙の部分が、今後ロゴとして使われるのであれば、少し硬いのかと思う。漢字が難しい漢字ばかりなので、何か皆様にご協力いただいたり、参加していただいたり、興味を持ってほしいという意味合いを持った時に、とっつきにくいかなという気がしました。

F委員 よくまとめてあるので、家に帰ってからじっくり読ませていただきたいと思っております。

A委員 このビジョンに対して異論というものはありませんが、結論的には項目そのものが枝分かれして、机上の空論にならない形でどこまで実行力が伴うような仕組みになっていくのかというところが危惧される所であります。

例えば、6次産業化の件につきましても、今の富里市の生産者形態、農業の実態把握からいった場合に、もちろん先行して努力されて、6次産業化をしている企業もありますが、実態の小規模農業経営者において、果たして生産、加工、販売までの仕組み作りが、農

協はじめ関係団体をご尽力されても、どこまで実行できるかという
と、こういう形で表現されていることに、皆様にご努力或いは興味
を示すということがあるぐらいでいいとは思いますが。

冒頭に申し上げましたとおり、具現化できることを求めていくと
いうスタイルになるよう精査していただければという感じを受けま
した。

アドバイザー

前回から比べますと飛躍的に良くなり、わかりやすい内容になっ
ていると思います。

ビジョンの方は、概ね計画期間は3年間ということで見られてい
る。実際にこの下にアクションプランが来るとは思いますが、観光振
興の場合は、平成32年ということでは4年間を計画期間として見られ
ている。1年間の違いがあるのはどうしてか。

事務局

30年度から32年度までの3年間を観光振興アクションプランと
しての位置付けとしておりました。今調整をしております。産業振
興ビジョンも30年度から32年度までの3年間という位置付けで考
えております。

アドバイザー

どちらも3年間ということではよろしいでしょうか。

事務局

計画期間としまして、産業振興ビジョンの4ページの最下部に概
ね3年間と載せさせていただいております。

将来的な位置付けでございますが、観光振興アクションプランに
つきまして、ご指摘のとおり、産業振興ビジョンの中のひとつの行
動計画の位置付けでございますので、わかりやすい表で説明すると
産業振興ビジョンの10ページをご覧ください。一番上に基本構想か
ら実施計画までの富里市総合計画の有り様でございます。これに合
わせる形で、基本構想の部分を産業振興ビジョンに位置付けまして、
5年で前期後期に分け、そして、その中の行動計画を実施計画とし
てぶら下げていくスタイルに、3年後見直すという計画で進められ

たらと考えております。当面最初の3年間につきましては、経過的に行動計画の整備を順次行っていきまして、来る10年計画の策定の折には、全ての計画がきちんと出揃うというような形に整えていければと考えております。

アドバイザー

計画目標が平成32年というのは、オリンピックの年でベストなタイミングだと思います。ほぼ確実に増えていくだろうと思いますので。

それと、先程もご指摘がありました表紙の言葉「創り、繋ぎ、培う」に関しては、3つの単語というのが簡潔で覚え易いのでいいと思います。それから産業振興ビジョンの22ページの一番上にも「産業振興の基本方針」として、「創ること、繋ぐこと、培うこと」とありますが、出来ましたら、その基本方針の下に解説のようなものがあるといいのではないかと感じました。

つまり、「創ること」とは、産業振興政策や観光施設を創ることを始めとして、様々なことが関連すると思います。例えば、創業支援も「創ること」を意味します。

それから、「繋ぐこと」というのは「事業を繋ぐ＝事業承継」がその一例といえるでしょう。

ビジョンの中でそうした関連性を説明していただけると、表紙の3つの言葉と内容（本文）がしっかり結びついて、読む側にも明確にビジョンの論点が伝わるようになると思います。

現状、せっかく基本方針が掲げているのに、内容と結びついていない感じを受けますので、解説とともに例えば概念図やポンチ絵などを作られてもいいでしょう。

いずれにせよ、3つ言葉を表紙に掲げて、ビジョンの焦点を簡潔に表現するのは非常に良いことです。

B委員

観光振興アクションプランの中の4ページに観光客の推移のところで、平成20年から平成28年までの推移で、行事やイベントは多いけれど観光は少ないという結果になっているが、多い年である20年や22年というのは、何があって多かったのか。現状減ってきたも

のは、何が減ったのかというような資料のようなものがあれば今後
に繋げられるのかなと思いました。

宿泊については、難しいと思いますが、6 ページの外国人観光客
の国別というのがありますが、25年から28年で、3年後ぐらいには
中国については、約7倍に増えている。逆に北米などは減っている。
欧州なども10倍近く増えている。こういった推移もあるので、富里
も宿泊施設自体は多くはないと思いますが、近隣にあるので可能性
はあるのかなと数字を見て思います。

D委員 詳しくまとめられている。本当にこの通りにいけば良い街になる
なと思いました。

事務局 富里市の考えをお伝えしていない部分につきまして、いくつかご
説明をさせていただきたいと思います。

まず、ご提案をいただいた中で、本多委員からいただきました表
紙のデザインにつきましては、後程考えて、もう少し明るい形で考
え直してみたいと思います。

それから、A委員からいただきました、実行性の担保につきまして
は、観光振興アクションプラン同様、行動計画を綿密に作らせて
いただいて、その中から事実上、実行に移せるような形態のものを
明示していければと考えております。庁内調整等を図り、また都市
マスタープラン等との兼ね合いもありますので、整合性をとったう
えで進めてまいりたいと考えております。

それから、B委員から頂戴しました、観光振興アクションプラン
の4ページの資料でございますが、観光客の推移ですが、観光客と
してはあまりにも数字が少ない、富里市という所がどういう所なの
かが如実にわかる資料でございます。何故これほどの大きな浮き
沈みがあると申しますと、観光の対象となっている施設が調査に協
力していただける、いただけないというところで大きく数値が変動
してしまいます。端的に申しますと、ゴルフ場等が年間の集客状況
を報告していただけない場合があつて、そういう数値が如実に出
てしまっているものです。これが母数が大きいとそれほど大きく目立
たないのですが、若干そういうところで影響してのものでございま

す。

詳細の資料につきましては、出来る範囲で取りまとめてご提示できればと考えております。

事務局

アドバイザーから頂戴しました、表紙に出ている3つの言葉につきましては、基礎的に資料を積み上げていく前段階で、項目を立てる時に富里市が今足りないところ、アンケート調査及びヒアリング等を行いながら、浮き彫りになった言葉を3つ出しました。

資料の中の5ページで、創ること、繋ぐこと、培うことを入れて計画としては実行に移すためのキーワードになるわけですので、22ページの産業振興の基本方針のところ、改めて3つの言葉の説明は必要になると思いますので、是非加えさせていただく方向で調整させていただきます。

また、前回他の委員からもお話がありましたが、それぞれのキーワードに、それぞれの事業もしくは構想を当てはめていくのがいいのではないかという意見を頂戴した記憶がございます。

そういった部分につきましては、行動計画に反映させるほか、できればロジックモデルなどをたてまして、わかりやすく表現できればということで、今後進めてまいりたいと考えております。

議長

素晴らしいものが出来たというふうに思います。

もう少し、肉づけをしていけばもっと良くなっていくのかなと思います。

それと、観光振興アクションプランは、素案と書いてありますが、ある意味出来上がっているような感じを受け、方向性もすごく良いと思います。

産業振興を支援していくにおいて、24ページの中に富里市の創業支援事業概要ということで、明示図が出ておりますが、A委員がご心配されていた通り、どうやってそのものを推進していくのかということが一番大事なんだと思います。

商工業団体もありますし、農協のような団体もある、観光協会のような団体もありますが、特に商工業については、国が行っている施策というのはたくさんある。それを使う人たちがわかりにくい。

県は県で独自の施策を持っている状況である。富里市は富里市でやっ
ていこうとすると富里市の色を出そうとする中で、また独自のも
のを、県と市で連動しないで、国、県、市で同じ内容の施策をやっ
ているという話も良く聞き、紹介されることがあります。

やはり、使う人たちが相談した時に、どこが窓口になり、ワンス
トップで市はこんなサポートできますが、県はこういうものがあっ
て、国はこういう制度がある。

尚且つ、創業のお金については、民間もそうですが、政策金融公
庫も出すような形をとれるというようなことが、一体的にわかるこ
とが一番大事なので、その部分をいかにスムーズに推進できる体制
を整えるかということと情報を開示できるかということが一番大事
だと思いますので、その部分はもう少し、噛み砕いていただければ
なと思います。

議 長 次回会議はいつ予定されておりますか。

事務局 年明けに開催を予定したいと考えております。

議 長 その時までには、本日の資料を見ていただき、問題点等あれば、ご
意見をいただくということによろしいでしょうか。

議 長 その他よろしいでしょうか。よろしければ(2)その他は事務局から
ありますか。

事務局 事務局からは特にございません。

議 長 よろしければ、議事を終了させていただきます。進行を事務局にお
返しします。

事務局 ありがとうございます。

その他ないようでしたら、会議を終了させていただければと思いま
すが、よろしいでしょうか。

以上をもちまして、平成29年度第4回富里市産業振興推進会議を

終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。